

# 小・中学校英語研修

～主体的に表現し、伝え合う児童の育成～

9月28日(月)5校時に5年生において、小・中学校英語研修兼第2回要請訪問を開催しました。授業は、担任の佐々木先生とALTのクラリス先生が行いました。指導者として東京家政大学教授の太田洋先生と下野市教育委員会指導主事の稲葉亜希恵先生に参加していただきました。また、今回の研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者数を制限して市内の学校を対象にオンラインによる授業と講話の配信を行いました。

本時の「めあて」は、「自分や家族を友だちにより知ってもらうために、工夫して特技などを伝えよう。」でした。子ども達は、担任とALTの「Small talk」を聞いて、質問に答えた後に「めあて」を確認しました。そして、グループごとに自分や家族の特技について紹介し合いました。その後、みんなの前で発表をしました。ジェスチャーを交えて工夫して発表する事ができました。また、聞いている人もリアクション等で答えました。最後にみんなで「できることの本」を完成させました。

授業後に参観した先生方で研究協議を行い、「場面設定や状況、目的、相手意識をもったコミュニケーション活動」の大切さを確認しました。そして、太田先生から授業の講評と「新学習指導要領の実施に当たって」という講話の中で「思考・判断・表現」の評価について具体例を示しながら指導・助言をいただきました。今後も指導・助言を生かして英語学習を中心としたコミュニケーション能力の育成を進めていきます。

